

# 不登校の悩み親が共有

三國さん(敦賀)ら月1「カフェ」

敦賀市内で子育て支援活動に取り組む主婦らが、不登校や行き渋りに悩む親の会「カラフルふ登校カフェ」を立ち上げ、活動の輪を広げている。今年6月から月1回開催し、毎回5〜10人が参加している。発起人の一人、三國真弓さん(39)＝清水町1丁目＝は「親が悩む姿は子どもの元気を奪う。悩みや対応法を共有して、心を楽にしてほしい」と話している。(成美宏)



## 話し合い「心を楽に」

三國さんは自ら子育てに悩んだ経験から2014年、支援団体「親教育プロセス☆」を立ち上げた。制服のリユース事業や子育てセミナーの開催などを行っている。カラフルは、不登校に関して相談を受けたのがきっかけ。「指導方針は家庭ごとに違う。他の家の対応法が気になる人は多いはず」と考え、会を立ち上げた。

不登校に悩む親が集う会を運営する  
三國さん(左)と綱田さん＝敦賀市清水町1丁目

月1回、同市若葉町1丁目のハーツつるが店の集会場「オアシス」を借りて開催している。母親が参加しやすいよう日中に開き、子どもを連れての参加も可能にした。子どもを登校させることを

目標とせず、不登校になった要因やその時の親の対応、失敗談などを話し合うことで情報共有してもらおうのが目的だ。

参加者の中には「うちの子に問題があるから不登校になった」「親のしつけ方が悪かった」と自分たちを責める人もいるが、三國さんは「ちょっとした気持ちや認識のずれで不登校は誰にでも起こること。悪いこと決めつけないで」と話す。

「原因が家庭以外にある場合もある。子どもの思いを理解し、個性を尊重することが大切」と強調している。三國さんと一緒に会を運営する3人の子どもを持つデザイナー、綱田美紗代さん(39)は「不登校経験のない親は、対応が分からず不安になるんだと思う。自分がない考え方を知る良い機会にしてほしい」と話す。

次回開催は12月6日午後3時15分から参加費100円。問い合わせ、申し込みは具民生協コーポラルセンター＝フリーダイヤル(0120)016165。